

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	長崎県	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	長崎県文化遺産を活用した地域活性化事業		【計画の改善時期】 平成30年度
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
本県の特異な歴史により生みだ出された多彩な文化財を、地域住民が中心となり適切に保存・継承するとともに地域振興のために活用していく体制を整備することを目指す。 なお、別紙理由書のとおり、実施計画と実施計画期間を変更する。 ◇日本遺産「国境の島 壱岐・対馬・五島」のストーリー、構成文化財を活用した地域活性化事業 平成27年度に日本遺産第1号に認定された「国境の島 壱岐・対馬・五島」については、平成29年度までは行政機関が中心となり、ストーリー、構成文化財を県内外に情報発信するためのコンテンツ作りや案内板の設置等による受入れのための事業を実施してきた。 今後は、地域住民や地元の民間団体が主体となって、継続して文化財を適切に保存・継承するとともに、地域振興に活用していける体制の構築、自走に繋げるための次の事業を実施し、日本遺産の構成文化財を活用した地域振興の優良事例を目指す。 ○体制構築のための事業 ①普及啓発事業 ・地域住民が中心となり適切に保存・継承するとともに地域振興のために活用していく気運を醸成するための講座・ツアーの開催 ・スタンプラリーを行うことで、文化財の価値を学び、魅力を知ってもらう。 ○自走に繋げるための事業 ①人材育成事業 ・インバウンドのための通訳兼ガイドの育成 ②情報発信事業 ・国内外の人が多く利用するターミナル（空港、駅）、飛行機に広告を掲出し、構成文化財の歴史的・文化的魅力のPRを行いその認知度を高め、交流人口の拡大を図る。 ・構成文化財の解説プレートの設置事業。 ・ガイドブック作成。			
6 実施体制			
1. 本事業については、長崎県が全体計画の企画、調整事業の指導を行う。 2. 事業については、日本遺産「国境の島」推進協議会が実施し、構成団体のうち民間団体（商工会、観光協会、博物館指定管理者 等）中心での実施へ移行していく。 構成団体：長崎県（文化振興課、観光振興課、地域づくり推進課、新幹線・総合交通対策課、学芸文化課、壱岐振興局、対馬振興局、五島振興局、埋蔵文化財センター）、対馬市（文化交流自然共生課）、壱岐市（観光商工課、文化財課）、五島市（市町公室、観光物産課、生涯学習課）、新上五島町（観光商工課、文化財課）、対馬市文化財保護審議会、対馬観光物産協会、対馬交通、壱岐市商工会、一支国博物館、壱岐市観光連盟、五島市観光協会、新上五島町観光物産協会、長崎経済研究所、長崎県観光連盟、近畿日本ツーリスト、JTB九州、日本旅行、五島産業汽船、九州商船、九州郵船、野母商船、長崎歴史文化博物館			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 千円	平成30年度申請額： 10,007 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
①「国境の島 壱岐・対馬・五島」の文化財が所在する地域は、離島のため過疎化や高齢化の進行が著しく、近い将来、貴重な文化財の保存・継承に支障が生じることも想定される。文化財を活用しての自走に繋がる事業の実施は、雇用創出等の具体的な地域振興の成果も見込め文化財の保存・継承に繋がる。 ②貴重で魅力的な文化財を活用して地域振興に繋げる努力は行っているが、情報発信のコンテンツが想定どおりの効果を発揮できていなかったり、ターゲットが明確化できていなかったりしている。地域住民や地元の民間団体が地域振興アドバイザーの指導を受けながら、自ら文化財を活用した地域振興戦略の策定を行うことにより、自立継続して文化財の保護・継承、活用を担う中核人材の育成が図られる。			

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	(推進協議会の自主財源) ・HPやガイドブックによる情報発信 ・PRイベント、県外講座等開催 ・ツーリズムEXPO参加等による誘客 ・日本遺産連盟に加盟、啓発グッズの作成
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
現時点では、県として「歴史文化基本構想」策定の予定なし。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1：	地域の文化資源を活用した集客・交流									
評価指標区分 1：	文化遺産が所在する最寄駅の乗降者者数（具体的な指標は次のとおり）									
具体的な指標 1：	壱岐・対馬・五島への観光客延べ数（宿泊客は滞在日数でカウント）					関連事業：				
目標値 1：	【現状値】 平成 28 年度 2,360 千人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 2,700 千人									
設定根拠 1：	長崎県総合計画の平成32年度の目標値（2,700千人）に基づき設定。									
進捗状況 1：	各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度					
2,360 千人	千人	千人	千人	千人	千人					千人
8%										
目標区分 2：	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化									
評価指標区分 2：	地域に誇りを感じる住民の割合（具体的な指標は次のとおり）									
具体的な指標 2：	県政アンケートの「地域の歴史文化に対して誇りや愛着を感じる」認定地域の住民の割合の伸び率					関連事業：				
目標値 2：	【現状値】 平成 29 年度 - % ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 15 %									
設定根拠 2：	平成30年度を基準とし、毎年度、平成30年度比で5%を加算した伸び率の達成を設定。									
進捗状況 2：	各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度					
- %	- %	%	%	%	%					%
目標区分 3：	地域の文化資源を活用した集客・交流									
評価指標区分 3：	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）									
具体的な指標 3：	日本遺産の認定ストーリーや構成文化財を活用した旅行商品の案出件数					関連事業：				
目標値 3：	【現状値】 平成 28 年度 17 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 21 件									
設定根拠 3：	平成28年度を基準とし、その後は毎年度、1件の増加数の達成を設定。									
進捗状況 3：	各年度、状況値、目標に対する達成率									
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度					
17 件	件	件	件	件	件					件
0%										

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	情報発信充実事業（ガイドブックの作成）					実施団体：	日本遺産「国境の島」推進協議会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	ガイドブックについては、構成文化財の魅力の説明に加えて、離島で訪問しにくいため具体的なアクセスやモデルルートも掲載し、観光客が使いやすく楽しみながら周遊できるものとし、日本語版を新たに作成し、県内外の誘客による地域振興の成果を得るようにする。										
評価指標区分：	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	補助事業終了後のガイドブックの増刷数（自主事業分）										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 20,000 部 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 20,000 部										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
部	部	部	部	部	部						
事業②：	周知・広報充実事業（交通機関等での広告）					実施団体：	日本遺産「国境の島」推進協議会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	多くの方に周知が見込め、誘客のターゲット地域である長崎空港・長崎駅・佐世保駅等において、動画等も活用したデジタルサイネージ等で日本遺産のストーリーや構成文化財の歴史的・文化的魅力のPRを行いその認知度を高め、交流人口の拡大を図る。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	壱岐・対馬・五島の観光客延べ数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 2,360 千人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 2,700 千人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
2,360 千人	千人	千人	千人	千人	千人						
0%											
事業③：	構成文化財の解説プレートの設置事業					実施団体：	日本遺産「国境の島」推進協議会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	対馬島内に点在する日本遺産「国境の島」の構成文化財13箇所に、文化財の魅力および歴史的背景を踏まえた日本遺産ストーリーを紹介する解説プレートを設置することで、個々の文化財の魅力発信はもとより、地域に点在する文化財を「面」として活用し魅力を発信することで、島全体として地域の文化・伝統への関心を高め以て島への誇りを醸成するとともに、島外からの観光客等に対してはより魅力的な観光素材としての周知を図る。 なお、解説プレートはA3サイズで統一したデザインで作成するものとし、既存の文化財解説看板等に取り付けることにより、看板乱立による解説の複雑さや文化財周辺の景観悪化等を防ぐとともに、構成文化財の繋がり・歴史的背景を踏まえたストーリーを体感する一助とする。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	構成文化財関連施設の利用者数の増加割合（長崎県観光統計）										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 % ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 %										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
%	%	%	%	%	%						

事業④：	インバウンド向けガイドの育成事業					実施団体：	日本遺産「国境の島」推進協議会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	外国人の受入れを充実させるために、通訳兼ガイドの育成を行う。英語、韓国語等により、構成資産の魅力をよりわかりやすく伝えることができるため、来島者の満足度の向上、リピーターの増加が期待できる。整備した体制を活かすべく、今後、海外へ向けて積極的に情報発信を行い、交流人口拡大を図る。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	外国人のボランティアガイド利用者数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 200 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	人	人	人	人	人						
事業⑤：	県内地元住民向け講座、ツアーの開催事業					実施団体：	日本遺産「国境の島」推進協議会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	認定ストーリーを構成する文化財の魅力を地域住民に認識してもらい、保存、継承していく必要性を認識してもらい文化財を活用した地域振興に取り組んでもらうために講座やツアーを実施する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	県政アンケートの日本遺産の認知度										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 31 % ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 40 %										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
%	%	%	%	%	%						
事業⑥：	壱岐・対馬・五島周遊スタンプラリー事業					実施団体：	日本遺産「国境の島」推進協議会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	文化財が所在する壱岐・対馬・五島周遊のモデルコースに沿ったスタンプラリーを行う事で、楽しみながら文化財の魅力を学んでもらい誘客に繋げる。また現地ガイドの育成と連動させる事でガイドスキルと観光客の満足度の向上をはかり、リピーターの増加に繋げる。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	壱岐・対馬・五島への観光客延べ数（宿泊客は滞在日数でカウント）										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 2,360 千人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 2,700 千人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
2,360 千人	千人	千人	千人	千人	千人						
0%											